



2016～2017年度

Vol. 32回 No.2000 2017.4.3

平成29年4月 第1例会 晴

点 鐘 鈴木 荘一会長
国歌 斉唱 君が代
R ソ ン グ 奉仕の理想
四つのテスト 廣田 二郎

【出席報告】 免除者4名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2000	52	49	44	5	89.97%
1999	55	51	51	0	100.00%
前々回の修正		メイクアップ0名			100.00%

(敬称略)

会長挨拶及び報告

鈴木荘一会長

昨日は当クラブでも協賛しております、「三舟山&郡ダムお花見ウォーク」が多くの皆さんの参加のもと開催されました。RCの皆さんははじめご協賛いただいたみなさんに感謝申し上げます。

また記念すべき2000回の例会です。チャーターメンバーの皆さんはじめ歴代の会員皆様に感謝申し上げます。

4月は母子と健康月間です。母子に対する基本的な医療サービスの提供、保険従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援をしています。

具体的な活動としては、5歳未満の子どもの主な死亡要因である「はしか」「マラリア」「肺炎」「エイズ」「下痢疾患」に対して予防ワクチンや抗生物質の提供、汚染水による下痢疾患によって栄養失調が悪化するため、井戸を掘ったり、雨水貯蔵システムの設置やそれら設備を維持する方法の指導など実施しているそうです。妊婦の死亡率を削減するためには避妊教育や避妊具の提供や、安全なお産と元気な赤ちゃんの誕生のためには、妊婦が産前・産後の医療や訓練された保険従事者のサービスを受けることが必要です。その為に、医療従事者を対象とした研修プログラムを地元の人々が引き継いでいけるような支援、妊婦や新生児の医療に関する専門知識があるロータリー会員への

相談、母子の健康に関する専門団体との協力などの活動を行っています。

今後2050年には73億人いる世界人口が97億人にまで増えると予想されており。なにか我々の別の世代の話のように聞こえますが、ある雑誌には今後医療の発達とともに予防という分野で研究が進み、人間の寿命は飛躍的に伸びると言われています。50年前は200人に満たなかった100歳以上の人口が2016年には65692人まで増えています(ちなみに女性が57525人です)あながち空想の世界ではないと実感します。健康も企業人であるべき重要な要因です。会員みなさんが健康にご留意され、ご活躍されることを結びにして会長挨拶とします。

報 告

- 3月26日(日) 会長エレクトセミナーが開催されました。当クラブからは、隈元会長エレクトが出席しました。ご苦労様でした。後程、報告をお願いします。
- 3月27日、かずさ市民応援団総会が開催されました。当クラブからは、私(鈴木会長)が出席しました。

幹 事 報 告

内山貴美子幹事

- 4月10日(月) 周西中学校の入学式が開催されます。当クラブからは鈴木会長が出席します。宜しくお願い致します。
受付：8時40分～9時
開式：9時30分
- 4月12日(水)に開催される明治神宮清掃奉仕ですが、各自現地にお集まりください。次回参加者が多い場合は、バスの手配を検討致します。
- 今月は母子の健康月間です。「ひろくんを救う会」へ募金。36,400円

〈回 覧〉

- 君津RC週報
- 第4分区週報
- 4月17日の夜間例会についての出欠の案内
- 明治神宮清掃奉仕の案内

5. 第4分区RC親睦ゴルフ大会の案内
6. 市原中央RC創立30周年記念式典の案内
7. 台湾での「第18回ロータリー国際囲碁大会」の案内
8. 米山梅吉記念館より賛助会の入会案内及び春季例祭の参加案内
9. the rotarians (英語版)
10. 財団NEWS (4月号)

〈配布物〉

1. 例会プログラム
2. ガバナー月信4月号
(新ロータリアン：上妻会員掲載)
3. インターシティーミーティング報告書
(出席者のみ)

委員会報告

親睦委員会

4月の誕生祝・私の記念日

4月の誕生祝

阿部 正雄	S. 13.	4. 10
平野 寛明	S. 44.	4. 11
中野 賢二	S. 46.	4. 11
時下 俊一	S. 30.	4. 18
阿部 昭広	S. 41.	4. 25
廣田 二郎	S. 31.	4. 27

4月の私の記念日

福田 順也	H. 21.	4. 1
小幡 倅	S. 51.	4. 7
三浦 勇	S. 45.	4. 8
前田 亮	H. 3.	4. 11
宮寄 慎	H. 28.	4. 24
青柳 博	H. 23.	4. 27



国際ロータリー第2790地区 会長エレクト研修セミナー報告

隈元雅博会長エレクト

2017年3月26日にザ・クレストホテル柏にて行われました会長エレクト研修セミナーに参加してまいりました。君津RCからは地区委員予定者の鈴木会長と阿部会員の3名での参加でした。

前日に柏RCの会長セクレタリーである花島さんに接待していただき柏の夜を満喫させていただきました。

セミナーでの委員会説明では委員長予定者の鈴木会長、阿部会員の力強い説明が印象的でした。

パストガバナーの講話は土屋さんのお話しが印象に残りました。次年度にむけての準備が始まり身の引き締まる思いです。これからも地域の為、世界平和のためにロータリー活動を頑張ります。

クラブ広報委員会

「ロータリーの友」3月号紹介

猪瀬 浩副委員長

本日は「ロータリーの友」3月号の中で、気になった部分を発表させて頂ければと思います。

まず左表紙からの横段3ページを開いて頂ければと思います。

ここではロータリーの多様性、ダイバーシティの変遷、女性会員の起用について書かれています。

今では君津RCでも女性会員も多く当たり前前の事となっていますが、今から40年ほど前、女性会員は認められていなかったそうです。

今から40年ほど前ですと、1977年ぐらい。ちょうど私が生まれたぐらいの年代ですが、女性の社会進出というのは稀だったため、そんな時代において女性会員というのはあり得ないという風潮だったのかなと思います。

そんな中、当時のデュアルテRCでは女性会員の権利を求め、10数年闘ってきたとあり、その努力もあって1989年にRCの既定審議会で女性会員も認められたとあります。

そしてなかなか女性会員を受け入れなかった要因は、記事には「変化に対する抵抗故に過ぎなかったのだろう」と書かれています。これはたぶん、ある程度形が作られた組織というものは、新しく変化することに対して、前向きに捉えることが難しいからなのかなと思います。

組織が大きければ大きいほど、変化することに対する影響は計り知れない。そして変化した後の組織運営が必ずしもうまく行くとはい限らない、等々。変化に対する様々な不安が積みまとうからであって、そのリスク回避を、組織に属する個々人が考える

のは当たり前的心情かと思えます。

そんな不安を抱える会員に対して、時のリーダーとしては、「組織は変化をしていかなければならない」と決断を下すことは、かなりの勇気を必要とすることかと思えます。そして、時代に先立って新たなムーブメントを巻き起こそうとすることは、決して容易なことではないと思えます。

変化せず今までのままでいけば、人から「あだ、こうだ」と言われることなく卒なく組織を運営していけるのに、敢えて新たなことをすれば、組織を混乱に巻き込んだと色んなところから反発を受けることになるでしょうから。

それでも、新たな可能性を見出して、女性会員の起用に向けて、ファシリテーターとして動いた当時のデュアルRCの勇気は素晴らしいなど、私は感じました。

RCという組織における目的、「会員同士が育む友情や絆、そして人類に奉仕すること」ということは変えてはならないことだと思いますが、それを実現するための手段、今回の場合であれば女性会員の起用についての変革等は、時代の流れと共に柔軟に対応していくために必要なことだと感じました。

続きまして、P7-13には、ローターアクトクラブの活動が載っています。

私はローターアクトクラブがどんなものかわからなかったのを調べてみたところ、提唱RCが18歳から30歳までのローターアクト会員の個々の能力開発を支援し、またRCの活動に協力してもらえる機会を与えることで、社会とのより良い信頼関係を築くことを目的にしている団体とありました。また未来のロータリアンを育成する団体であるとも書かれていました。

記事にもいくつか紹介されていますが、東日本大震災等によって「絆」を大事にしようとする若者が増え、率先してボランティア活動に参加する若者も増えてきています。

こういった若者の熱い情熱を吸い上げられるように、我々RCがどのように彼らと関係を持ち、支援していけるかということを考えることも大事なのかなと思いました。

続いて、3月号ということでP18-22には、東日本大震災の特集が組まれています。

私も当時現地にボランティア活動に行ったりして、現地の方に浪江町の様子等を見させていただく機会もあったのですが、2015年の浪江町の写真を拝見させて頂いて、まだまだ復興道半ばなのだなと感じました。

ニュースでは、この4月1日より浪江町の更なる避難指示一部解除がなされ、浪江町人口の約8割の方が帰還することが出来るようになったとありますが、これからが復興本番なのかなと思えます。

あれから現地を訪れることは叶っていませんが、機会をみて訪問したいなと思いました。

続きまして、縦段のP4-8の、「地方創生〜ひと・まち・しごと〜」を発表させて頂きたいと思えます。

現在行政においても、地方創生に向けて様々な対策が模索されています。しかしどこかお役所的でして、まあ、お役所なので仕方がないのですが、形ばかりの対策が取られ、地方創生の神髄まで達していないような現状なのかなと思えます。

私が思う地方創生になりますが、記事のp4にもあります通り、「ゴールに辿り着くまでに、何か残せるもの、伝えられるものを、しっかり若い人たちにバトンタッチしようとしているのか？」という点が大事になってくるかと思えます。

手前味噌になりますが、富津市民花火大会。この前衛の市主催の花火大会は、市の財政問題が原因で休止となったと報道されていますが、一番の原因は担い手不足であったと思えます。

50年という長い年月が経つうちに、担い手の中心が市職員しかいなくなってしまった。財政難報道を受けて、その担当者である市職員の人員削減がなされたとき、花火大会をする余裕のある人がいなくなってしまった。だから中止にせざるを得なかった。これが実情であったと思えます。

そんなとき、記事のp6にあるように、「町の活性化のためには何をしたらいいのか」と、まず若者が立ち上がった。いろいろ若者たちもなんとか形にしようと頑張りましたが、若者だけではもちろん成功は成しえなかったと思えます。その若者の頑張りに対して、地域の有力者の方たちが「若い人自身の力で考えていく道を創ってあげよう」と、力を貸してくれた。だからなんとか成功したのだと思えます。蛇足ですが、今年も7月に開催しますので、温かいご支援頂ければと思います。それはさておき、先ほどもローターアクトクラブの紹介で伝えましたが、今の若者の中にも、なんとか地域を良くしたいのだ、と思う方はいらっしゃるかと思えます。ただ若者の情熱だけでは、大きなムーブメントを起こすことは難しいかと思えます。

若者と地域や、その地域の有力者とのパイプ役。これが必要になると思えます。そんなパイプ役をRCで出来たら、地域の活性化を加速させることができるのではないかなと、記事を読んで思いました。

続いて、横段に戻って頂きまして、P36-39の「ロータリー：変化をもたらす」をご紹介して最後としたいと思います。

今年度のR Iのテーマは、Making a Difference、変化をもたらそう、であります。RC活動の持続可能性を見出すためにも、世の中の変化に対応した手法を講じていかなければならない。

P37の記事にあります、60年近くの年月が経て現在も残っている企業の割合は大体12%、8社に1社ぐらいとのこと。良くダーウインの進化論に掛けて、「変化に適応したものが生き延びられる」と言ったような言葉がありますが、現在も生き残っている企業の共通点は、時代の変化への適応性があることだと分析されたとあります。

君津RCは昭和47年3月に設立され、先日創立45周年を迎えたわけですが、現在もどんどん会員が増えている元気な団体であると思います。女性会員も増えつつあり、ホームページを見ると、会員の平均年齢は43.8歳。いろんな団体を見させていただく中で、なかなかここまで元気のいい団体というのは少ないかと思えます。

こんな君津RCを今後も元気なまま、継続させていくためには、P38のホルヘ・アウフランクRI理事の言葉にありますように、「地域社会のニーズにあった事業を構築していくこと」「そのニーズを求める人たちを巻き込み一緒に活動すること」、そして「行政や目的を同じくする人や団体と協力体制を組むこと」が大事になってくるかと思えます。

その事業により公益性を持たせることで、地域社会の関心が高まる。地域社会の関心が高まることで、RC自体が目目される存在になる。そして共に活動してくれる会員が増えるだろう、とあります。

いずれにせよ、P39にありますマザー・テレサの「この世の一番の悲劇は、無関心です」との言葉にあるように、悲劇にしないためには常に関心を持って活動をしていくことが大事であると思えます。

「変革の能動者」「ファシリテータ」、また記事では「PeoPle of Action（世界を変える行動人）」等、様々な言葉がありますが、持続可能な地域の発展を目指すためにも、我々一人ひとりが、「I Serve」の精神をもって、地域に必要とされる団体であり続けるために、「Making a Difference」、いま必要としている変化、そして未来のために必要としている変化をもたらしていける活動をしていけるよう頑張っていきましょう。

以上、まとめませんが、ロータリーの友3月号で気になった記事の紹介となります。ご清聴あ

りがとうございます。

青少年奉仕委員会

R Y L A 報告

木信産業(株) 作業課作業係
渡辺由喜様

今回黒岩社長に誘われ、初めてRCのセミナーに参加しました。そもそもRCはどのような団体なのか、どのような活動をしているかもわかりませんでした。なので会社の行事の一貫として渋々参加するという気持ちでしたが、1泊2日の研修を終えた今、参加できてよかった。とても楽しく様々な事を学べた。という気持ちでいっぱいです。

R Y L Aとは、若い人達が楽しみながら新しいスキルと自信を身に付けることを目指すリーダーシップ養成プログラムの事で、今回の研修ではウォークラリーを通してペア・チーム・ユニットでコミュニケーションをとり、協力し奔走・表彰を目指すという内容でした。初対面のチーム員と恥ずかしさもあり、なかなかコミュニケーションがとれず、苦労した面もありましたが、色々な事を話し合い時間が経つにつれ打ち解け合い、惜しくも2位でしたが表彰を掴む事もでき、素晴らしいチームだったと思う事が出来ました。

知らない土地を歩き、地域の方と触れ合い、ペアで協力し難解であるコマ図を読み取り前へ進む。これは人間の一生と同じなのではないでしょうか。人は何時も話し、聞き、コミュニケーションを取り協力し合う。壁にぶち当たった時、誰かを頼り相談して乗り越える。そして前へ前へと進んでいく。ウォークラリーも同じでした。ゲームをしている感覚で参加していたウォークラリーですが、改めて振り返ってみると、何も意識していないが、人が人生を歩む様に人を成長させ、それに必要な能力を向上させるプログラムであったのだと実感しました。2日日には1日目の反省点を活かし、各ペアがより協力し合い、みごと全チーム完走。団結力も高まり、チームで意見を出し合い、仮定と検証を繰り返し、正解を導き出す。スキルと自信を身に付けながら達成する。

まさにR Y L Aの目的そのものでした。

年齢・職業は様々ですが、素敵な出会いをし、大変素晴らしいメンバーに恵まれ、セミナーに参加した事により1泊2日という短い時間のなかで培ったものは貴重な経験となり今後の生活の中で大きく強く活かされていくのだと感じました。この貴重な経験を活かし、プライベート・仕事などに役立てていこうと思えます。

セミナーでお世話になりました、RCの皆様、R Y L Aスタッフの皆様、参加者の皆様、大変あ

りがとうございました。

佐々木昭博委員

皆さん、こんにちは！青少年奉仕委員の佐々木です。さて1カ月以上前の事になってしまいますが、2月の25日、26日の2日間、第40回RYLAセミナーに参加してまいりました。君津RCからは、岡野委員長、吉野会員、黒岩会員、阿部昭広会員の4名は運営側でしたので、純粹に参加したのは自分と木信産業さんの社員渡邊君の二人でした。10代から30才までの青少年達とロータリアンがウォークラリーと言うゲームをクリアするという共通目標を達成する為にコミュニケーションを深めながら、青少年達のリーダーシップをやしなうプログラムでした。

私を含め参加したメンバーのほとんどがウォークラリー自体がどんなモノなのか全く肥握しておらず、それどころか会社の上司からとりあえず行ってこい！と言われて何をするのかさえ分らない状態の青少年が沢山おり、最初はかなり戸惑いの表情を見せていましたが、いざ参加し始めると、どんだんのめりこんで行き、初日の反省検証会では積極的に意見を出したり、リーダーシップを取る若者が自然と出てきました。またウォークラリーで使うコマ図と言うモノには色々暗号めいたものが含まれているのですが、その辺の解説などもどんだん意見が出て来て、改めて若者の発想の柔らかさに関心させられました。2日目では、すでにチーム全員が仲間意識を持ち、チーム目標を自ら設定したり、体力的に劣る中年オジサンの私を気遣ってくれたり、頼もしく感じました。結果として自分のチームは総合で2位という好成績で終わりました。30チーム前後いた中で2位ですので大変素晴らしい成績です！しかしこのRYLAセミナーで最も評価されるチームは1日目と比べて2日目の成績の伸び幅が一番大きかったチームが最高の栄誉に輝くとのことでした。この事を聞いた時にこのRYLAセミナーの意義と素晴らしさ、そしてスタートはどうあれやはり人間日々成長して行く事の大切さを再確認させてもらいました。また若い人達もイキイキと楽しそうに取り組んでいましたので、私達大人が上から目線で説教がましく言うよりも、成長して行く事の大切さ楽しさを肌で体感してくれたのではないかと思います。尚、来年度もRYLAに参加される方がこの中から選出されると思いますので、ネタばれを防ぐため、ウォークラリーの内容詳細についての説明が無かった事はご了承下さい。以上でRYLAセミナーの報告を終わります。有難う御座いました。

黒岩靖之副委員長

平成29年2月25日(土)～26日(日)の2日間、国民宿舎サンライズ九十九里において第40回RYLAセミナーを開催しました。

二日間ともRYLAセミナーには最もふさわしくない暖かな天候で、参加者、運営スタッフ総勢約80名での開催となりました。

今回も「歩行ラリー」を教材として使い、「事実とは何か」「真実とは何か」を探させます。しかし、これまでの生活で会得してきた知識や経験が「先入観」や「思い込み」となり多くの間違いを犯していきます。その間違いを仲間と一緒に問題解決して行きながら、1. 気づき、発見する喜び、2. 達成感、成し遂げる喜び、3. 一体感、仲間の一員である喜びを学んでもらいました。

また、基調講演を古市佳央氏が『生きる幸せ』について講演されました。古市さんは高校生の時にバイク事故で重度の熱傷41%という、生死をさまよう大やけどを負ったが、奇跡的に命を取り留めた。しかし顔や手に大きな損傷が残ったが、三年間にわたる治療を通じて、様々な入院患者とのふれあいを経験し、再び生きる希望を取り戻した経験を話され、参加青少年はもとより及び我々スタッフの心にも響きました。

今回初めての場所でコース作りから大変でしたが、何時ものように閉講式では、開講式の固い雰囲気と違って参加青少年の顔が生き生きと輝いていて、参加者が感想を述べましたが内容はペアの相手に感謝、チームの仲間へ感謝、セミナーを運営するスタッフに感謝するものばかりで、素晴らしい若者たちに会えたことを私たちこそ感謝したい気持ちでした。苦勞して準備してきてやって良かったなどしみじみと感じました。

阿部昭広地区委員

今年度の地区RYLAセミナーは第40回目の開催でした。2月25日(土)～26日(日)1泊2日、サンライズ九十九里にて行われました。内容は「コマ図」を使用した「歩行ラリー」で、参加者は総勢約90名でした。私は、RYLAへの参加が5回目ですが、今回は地区委員という立場での参加となりました。

地区委員会の中の私の役目はラリー班長、つまりは歩行ラリーのコース作成及びコマ図の作成でした。昨年8月頃に会場が決定したあと、昨年10月に予定されていた第1回目の実行委員会までに、コースを一つ作成せよとの命のもと、黒岩会員にもお手伝いをしていただき、コース作成が始まりました。過去のデータは残っていないため、全てがゼロの状態からの作業でした。歩く道を選びな

がら、距離を測定し、目印になるもの、チェックポイントの場所などを決めていきました。毎月1回から3回程度現地に足を運び、コース作成・検証を繰り返しました。実行委員の方々はRYLAのベテランが多く、頼りになり、非常に勉強になりました。

参加者は、当日の午前中に初めて「歩行ラリー」について学び、午後にはコースを歩くのですから、戸惑って当然です。その上、少し前に初めて会ったペアを組む相手しか相談することができないのです。しかも、次のチェックポイントまで時速〇km/hで歩くよう指示が出ますから、いろいろなことを考えなければならないのです。そのような状況だと簡単な目印を見落とししたりすることもあります。コマ図は、ひとつでも間違えるとその先が繋がっていきません。つまり、ゴールできなくなるのです。コースの作成者としては、間違えやすい場所とわかりやすい場所を想定して、コース上に実行委員の方を配置して、コースから大きく外れて行方不明にならないよう配慮しています。しかし、どうしてこの角を曲がるのかと理解できない行動をするペアが多くあり、急遽人員の配置の変更をしたこともありました。

初日の歩行ラリーは、ほとんどのペアがタイムアウトとなりました。全員が研修場所に戻ったのち、歩行ラリーについてチーム内で意見交換をします。自分たちはこう考えた、とか他のペアの考えを聞いたりします。コマ図の内容についての議論をします。そして、そのあとでコースに戻り確かめるという時間を設けました。議論したことをコースで検証することが重要だと考えたからです。

研修時間の中で、各チームごと壁新聞のような形でまとめをしていくのですが、初日のまとめの中に今日のコースを作った人は頭がおかしいんじゃないですか?」とか「ムカツク〜!」といった内容のコメントがあり、思い通りだなと笑ってしまいました。

二日目は全ペアがゴールでき、まとめの壁新聞のコメントも「すばらしいセミナーだった」とか「良い仲間ができた、参加してよかった」と変化していました。そして「このコースを作った人、天才」というものもありました。毎年RYLA参加者の皆さんからは、「参加してよかった」というコメントをいただいております。初日の戸惑いを初めて会った人と協力をして解決していくという過程の中で、これまで知らないうちに染みついてきた先入観や固定概念のようなものを少しでも取り払い、目の前の現実を直視するということの重要性に気付くはずです。そういった一つ一つの達成感が、満足の源になるのだと考えています。

次年度は地区委員長として、このすばらしいRYLAを成功させたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

ニコニコBOX

鈴木 荘一 祝2000回例会です。歴代の会員の皆様はじめ多くの関係者の方々に感謝申し上げます。

内山貴美子 今日から世間では新年度です。となりで安房運輸様の入社式と書いてありましたが、ロータリーも新入会員が増えると良いですね!

早見 秀一 本日は、入社式でした。新昭和としては、42名が入社しました。新たなホールディング体制のもと、気持ちも新たにスタートします。先日は母の葬儀でご心配をお掛けし申し訳ございませんでした。お心遣いありがとうございました。

廣田 二郎 ①祝誕生 いっちゃん(十還暦)になりました。

②祝2000回例会 四つのテスト唱和させていただきありがとうございました。

③祝入社式 当社2名入社しました。フー・チンも愚息も入社です。

黒岩 靖之 ①2000回の例会にニコニコ
②皆様、45周年式典ご苦労さまでした。

③昨日、4分区マージャン大会で2位になりました。

時下 俊一 誕生祝いありがとうございました。当社にも初々しい4名の新入社員を迎えました。

ピカピカの1年生同様遅ればせながらスマホデビューしました。ロータリーのLineグループに参加させて頂きました。

宮本 茂一 甲府との合同ゴルフコンペにて、甲府の塚原会長チーム対、宮本・岡野チームでニコニコBOXを賭けて大勝しました!!僕と岡野会員は同点バスグロでした!!塚原会長の約束した1,000円と岡野会員のバスグロを祝って1,000円。計2,000円寄付致します。

岡野 祐 45周年親睦ゴルフで宮本会員とタッグを組み、甲府東ロータリーの塚原会長チームに勝利したのでニコニコします。初めて宮本さんと同

隈元 雅博	<p>スコアでベスグロだったので合わせてニコニコします。</p> <p>先週3月26日に会長エレクトセミナーに参加してきました。歴代の会長の皆様と同様に、一生懸命努めさせて頂く所存です。これからもロータリー活動を頑張りますので宜しく御願います。</p>	阿部 昭広	<p>た報告をさせていただきました。有難う御座います。</p> <p>2000回例会、おめでとうございます。週末は広島へ遠征してきましたが、負け越し。今日は金本監督の誕生日です。</p> <p>R Y L A 報告をさせていただきました。</p>
小川 哲也	<p>4月に入り、会社にも元気で若い新入社員が入ってきました。彼らの元気をもらいながら今年度も楽しくやっていきたいと思えます。</p>	松井泰次郎	<p>平成29年度。新しい年度が始まりました。今年は若干桜の開花は遅れていますが、明るく元気に新年度を活動して行きましょう。</p>
中村 圭一	<p>3月下旬にカゼをこじらせて体調を崩してしまいました。ようやく回復し新年度の幕開けに間に合いました。健康のありがたさをつくづく実感しました。</p>	大森 俊介	<p>時季はずれのインフルエンザにかかり非常に大変な思いをしました。何も悪い事はしてないのですが、多くの方に疑われ、心外です。</p>
永嶌 嘉嗣	<p>先日の親睦ゴルフでは、皆様のご協力により時間通りに進みました。どうもありがとうございました。あとニアピン賞も頂きました。</p>	大川 裕士	<p>本日の例会が2000回目とのこと。おめでとうございます。歴史を感じますね。君津RCの更なる発展をお祈りいたします。</p>
谷 浩司	<p>苦しくも移動例会の夜から熱が出はじめインフルエンザA型となっていました。そのお陰もあって1週間で体重が5kg減りました。このペースで行くと今年中に80kg台も行けると思っています。インフルエンザはしっかりと治りましたので安心して下さい。</p>	吉野 和弘 近藤 洋子	<p>例会2000回。歴史の重みを感じます。先日、2年間務めた町内会役員の引き継ぎを終え、ホットしています。先日、千葉城へ花見に行き参りました。少し寒かったですが、とても綺麗でした。</p>
荒井潤一郎	<p>新しい年度が始まりました。想いをしっかり思って頑張ります。</p>	西山 肇	<p>本日午前中に、新入社員115名の入社式を行いました。新しい仲間が弊社に加わってくれたことに感謝です。</p>
猪瀬 浩	<p>40代になったということで、つい先日人間ドックを受診してきました。まだ正確な結果は出ていないのですが、BMI、コレステロール値、血糖値が危ないですよとの診断をもらいました。普段からお酒は飲まないのですが、〇〇大盛りの食事がいけなかったのかなと思います。これからは食事量なんかも気をつけて、健康には留意していきたいと思えます。</p>	坂井 正視	<p>45周年おつかれ様でした。当日、翌日と充実した日々を過ごせました。皆さん、こんにちは。4月に入って春の陽気にはもう少し時間がかかりますね。寒かったり暖かかったり、桜の開花ももう少し。昨日は木更津の潮見でお花見でしたが桜も三部咲き。今日は、我社では今年の新入社員の入社式をホテル千成で行います。今期も一年会社の発展と社員、地域、社会のために頑張ります。皆さん宜しくお願い致します。</p>
佐谷 秀世	<p>今日は拙い「ロータリーの友」の記事紹介、お聞き頂きましてありがとうございました。</p>	石川夕伎夫	<p>皆様、こんにちは。只今、花粉症まだただ中で花見どころではありませんが、桜がキレイですね。話は変わりますが、先日、隈元さんに仕事の相談で電話したらトレナビの契約じゃないので残念がられました。本社に帰った時、検討します。</p>
佐々木昭博	<p>本日はR Y L A セミナーへ参加し</p>	村上 進	